

## 日振協第三者評価要領

日振協は令和 7(2025)年より、2 本の評価事業(教育活動評価・第三者評価)を統一するとともに評価項目を検証し、従来の「自己点検・評価項目」では不十分な点や不適当な部分を改定し、運営状況をより適切に確認し、課題をより明確に把握できるようにしました。これは、日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律(令和 5(2023)年法律第 41 号)が、令和 6(2024)年 4 月から施行された機会に対応するものです。

本文書 1 ページ以降に、改定された「自己点検・評価シート及び報告書」を示します。この評価シート及び報告書には評価に当たっての観点や判断のよりどころ等が示されており、報告書に記載された指示や問いに沿って答えることで、各日本語教育機関の教育・運営等について、適切な自己点検・評価が行えるように構成されています。

「日振協第三者評価」は、①各日本語教育機関が自己点検・評価を行い、その結果を報告する、②その内容を日振協評価チームが検証・再評価する、③さらに第三者評価委員会が日振協評価チームの再評価結果を確認し、必要な修正を経て承認する、という 3 段階の手順を経て行われます。

以下、第 1 段階目で使用する「自己点検・評価シート」の内容・形式について説明します。

- \* 評価項目は、大項目 (1~10) 及びその下位項目 (丸付き数字) から成る。
- \* 下位項目 (丸付き数) には必要と思われる着眼点 (中黒点「・」によって始まる項目) を示し、各着眼点を参照した上で、下位項目についての評価を選択肢 (□のチェックボックスから始まるもの) から選ぶこととし、受審者の主観的あるいは恣意的な評価を避けるようにした。
- \* 下位項目評価結果を前提に、大項目 (1~10) の達成状況についての総合評価を、3 段階ないし 4 段階からなる選択肢 (□のチェックボックスから始まるもの) から選ぶ形式とした。
- \* 各項目は、単に自己評価を示すだけでなく、原則として、「評価の根拠とした資料名及び資料番号」を挙げて評価する。
- \* 日振協第三者評価では受審機関の現在の達成状況の確認とともに、更なる向上のための課題明確化が重要であることから、それぞれの見出し項目について改善すべき課題をいつまでに、またどのように改善する予定かを記述する。

## 自己点検・評価シート (日振協第三者評価用)

### 評価項目1 教育の理念・目標と、その具体化のための方策

ここでいう「理念」とは、「日本語教育を実施するにあたり、貴機関として最も高い価値を置いている基本的方針」であり、例えば「～という人材を育成したい」、「学習者中心という考え方に基づいて教育を行いたい」、「～という点で社会・世界に貢献したい」等を指し、かつ貴機関を他機関から区別する、独自の特色を示すもののことを指します。

「目標」とは、上記『理念』を形にするために設定する、教育上の具体的な達成状況であり、かつ「達成できたかどうかを確認可能なもの」のことを指します。例えば、「学生本人の人生の目標に適合した高等教育機関への進学を実現する」、「日本の企業に就職が十分可能となるレベルのコミュニケーション能力を育成する」等です。

- ① 理念を書いてください。
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- ② 教育目標を書いてください。
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- ③ 上記「理念」と「目標」とが、お互いにどのように関連しあっているかを説明してください。
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- ④ 理念と目標を具体化するための方策を説明してください。

#### 【理念・目標の具体化についての自己評価】

- 理念に基づいた目標が設定されるとともに、目標達成のための方策がとられ、目標が確かに達成されている
- 理念と目標の関係が明確でない。あるいは目標が十分には達成できているとは言えない
- 理念と目標が無関係。あるいは目標が達成できていないか、達成できたかどうかを確認できるような目標になっていない

**【改善すべき課題】**

(何を、いつまでに、どのように改善するか、箇条書きで簡潔に記述)

評価項目 2 日本語教育機関の運営

- ① 認定日本語教育機関認定基準又は日本語教育機関の告示基準に適合していることを年 1 回以上確認している。

はい     いいえ

※ 認定機関は「認定基準適合確認書」を、告示機関は「告示基準適合状況点検表」を用意。

- ② 運営の透明性が確保されている。

(振り返りのための着眼点)

- ・ 校長、主任教員、専任教員、非常勤教員、事務局統括職員、事務職員の職務内容及び責任と権限を明確に定め、かつ、教職員間で周知されている。
- ・ 管理、運営のための諸規程を整備し、規定に基づいた運営が効果を上げている。
- ・ 予算編成が適切になされ、明確なルールにより執行している。

(自己評価)

- 上記着眼点が十分満たされ、これ以上の改善は当分の間考えられない。
- 上記着眼点はおおむね満たされているが、まだ改善の余地がある。
- 上記着眼点は 5 割以上満たされているが、まだ改善の余地がかなりある。
- 上記着眼点とはかなりの隔りがある。

評価の根拠とした資料名及び資料番号

- ③ 運営に必要な情報が機関内の関係者間で共有されている。

(振り返りのための着眼点)

- ・ 機関の短期及び中長期目標が教職員間で周知されている。
- ・ 運営や教育活動に必要な情報を教職員間で共有する仕組みがあり、機能している。

(自己評価)

- 適切に行われており、これ以上は当分の間改善の必要はない。
- おおむね適切に行われているが、まだ改善の余地がある。
- ある程度満足しているが、改善の余地がかなりある。
- 課題が多く、根本から考える必要がある。

評価の根拠とした資料名及び資料番号

④ 運営にあたり法令を遵守している。

(振り返りのための着眼点)

- ・ コンプライアンス意識向上のため担当者を定めて取組を行い、効果が出ている。
- ・ 関係官庁への届出、報告を遅滞なく行っている。

(自己評価)

- 適切に行われており、これ以上は当分の間改善の必要はない。
- おおむね適切に行われているが、まだ改善の余地がある。
- ある程度満足しているが、改善の余地がかなりある。
- 課題が多く、根本から考える必要がある。

評価の根拠とした資料名及び資料番号

**【運営についての自己評価】**

- 運営方法は全般的に優れており、これ以上は当分の間改善の必要がない。
- 適切な運営方法であるが、まだ改善の余地がある。
- おおむね適切な運営方法であるが、改善の余地がかなりある。
- 改めるべき課題の多い運営方法である

\* 特筆すべき取組み、独自の取組みがあれば簡潔に記述。

【改善のための方策】

評価項目3 情報公開

- ① 機関の設置者、教育内容、定員、進路等の情報をホームページ等で公開している。

(公開している項目をチェック)

- 設置者・設置代表者名  学校種別  設置年月日  所在地  連絡先  
 教育課程(設置コース)  入学時期  教育課程(各コース)の教育内容  
 レベル設定  定員  在籍者数  教員数  教室数  進路  学則  
 自己点検・評価結果  財務状況

- ② 募集及び納付金に関する情報を公開している。

(公開している項目をチェック)

- 応募条件  出願方法  提出書類  選考方法  納付額  納付時期  
 納付方法  関係諸法令に基づいた学費返還規程

- ③ 入学希望者やその関係者に理解できる言語で情報提供を行っている。

(自己評価)

- 各言語とも正確に行っており、これ以上は当分の間改善の必要がない。  
 各言語とも適切に行っているが、まだ改善の余地がある。  
 言語対応を行っているが、改善の余地がかなりある。  
 課題が多く、根本から考える必要がある。

評価の根拠とした資料名及び資料番号

- ④ 情報は十分に整理されて公開されており、必要な情報がどこにあるかが分かりやすく示されている。

(自己評価)

- 情報は十分に整理されて示されており、これ以上は当分の間改善の必要がない。
- 情報は整理されて示されているが、まだ改善の余地がある。
- 十分に整理されているとは言えず、改善の余地がかなりある。
- 課題が多く、根本から考える必要がある。

評価の根拠とした資料名及び資料番号

- ⑤ 公開されている情報は常に最新のものに更新されている。

(自己評価)

- 公開している情報は常にすべて最新のものであり、当分の間改善の必要がない。
- 情報は最新のものであるが、まだ改善の余地がある。
- 更新できていない情報もあり、改善の余地がかなりある。
- 課題が多く、根本から考える必要がある。

評価の根拠とした資料名及び資料番号

**【情報公開についての総合評価】**

- 質・量ともに十分かつ最新の情報を、整理された形態で公開しており、これ以上は当分の間改善の必要がない。
- 公開している情報と公開形態は適切であるが、更なる改善の余地がある。
- 公開された情報の質・量、あるいはその公開形態に一部課題があり、改善の余地がかなりある。
- 情報公開について課題が多く、根本から考える必要がある。

\*特筆すべき取組み、独自の取組みがあれば簡潔に記述。

【改善のための方策】

評価項目4 入学者の募集と選考

① 適切な方法で入学者の募集を行っている。

(振り返りのための着眼点)

- ・ 教育目標に合致した募集計画を立案し、募集地域や対象者を定めて募集活動を行っている。
- ・ 機関所属の職員が入学希望者に対して情報提供や入学相談を行っている。
- ・ 海外の募集代理人に最新かつ正確な情報提供を行っている。
- ・ 海外の募集代理人の適切性を確認し、募集活動を具体的な情報により把握している。

(自己評価)

- 着眼点のすべてに該当しており、これ以上は当分の間改善の余地がない。
- おおむね該当しているが、まだ改善の余地がある。
- 該当していない箇所もあり、改善の余地がかなりある。
- 該当しない項目が多く、根本から考える必要がある。

評価の根拠とした資料名及び資料番号

② 適切な方法で入学者の選考が行われている。

(振り返りのための着眼点)

- ・ 受け入れるコースの教育内容が入学志願者のニーズと合致することを確認している。
- ・ 入学選考基準及び方法が定められ、適切な体制で入学選考を行っている。
- ・ 入学志願者の学習能力、学習意欲、日本語能力等を確認している。
- ・ 入学志願者の情報を正確に把握し、提出された根拠資料で確認している。
- ・ 不法残留者を多く発生させている国からの志願者には機関所属職員が面接等の調査を行っている。

(自己評価)

- 着眼点のすべてに該当しており、これ以上は当分の間改善の余地がない。
- おおむね該当しているが、まだ改善の余地がある。
- 該当していない箇所もあり、改善の余地がかなりある。
- 該当しない項目が多く、根本から考える必要がある。

評価の根拠とした資料名及び資料番号

【入学者の募集と選考についての総合評価】

- 適切な募集と選考により機関の目的に適合した入学者を、質・量ともに満足できるレベルで得ることができている。これ以上は当分の間改善の必要がない。
- 募集と選考を適切に行い、機関の目的に適合した入学者を、質・量ともにおおむね満足できるレベルで得ることができているが、まだ改善の余地がある。
- 募集と選考はおおむね適切と考えられるが、得られた入学者の質または量において、やや課題が残る状況であり、改善の必要がある。
- 機関の目的に適合した入学者を得ることができているとは言えない。募集方法と選考方法を根本から考える必要がある。

\*特筆すべき取組み、独自の取組みがあれば簡潔に記述。

【改善のための方策】

評価項目5 教育活動

- ① 教育目標に合致した教育活動の計画を作成している。  
(振り返りのための着眼点)

- ・ 理念と教育目標達成のためのカリキュラムを編成している。
- ・ 学生の熟達度を、特定の試験の成績だけで判定するのではなく、「日本語教育の参照枠」の枠組みの中に位置づけて理解する試みを行っている。
- ・ 理念及び教育目標に適合した教材が選択、又は制作されている。

(自己評価)

- 教育活動が理念・教育目標を達成するために計画されており、かつ確かに理念・教育目標の達成に貢献していることを、根拠を挙げて説明できる。
- 教育活動は理念・教育目標を達成するために計画されているが、その達成に貢献していることを、具体的に根拠を挙げて説明することは困難。
- 教育活動と理念及び教育目標との関係を明確に示すことは困難。

評価の根拠とした資料名及び資料番号

\* 教育活動が理念・目標の達成に貢献している理由を挙げられる場合は、具体的に記述してください。

② 教育活動を適切に実施するための手立てを講じている。

(振り返りのための着眼点)

- ・ 教育活動の計画が教員全体に周知されている。
- ・ 学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。
- ・ 当該学期の学習内容及び学習予定等を学生に開示している。
- ・ 出席簿を備え、正確に記録している。教育活動の振り返りと改善に活かせるような形で授業記録簿を残し、記録内容を関係教員間で共有している。
- ・ 学習成績の判定基準及び方法が定められ開示されている。また判定結果を的確に学生に伝えている。

(自己評価)

- 教育活動を適切に実施するための手立てが十分に講じられており、かつそれらが確かに教育上の効果を上げていることを、根拠を挙げて説明できる。

- 教育活動を適切に実施するための手立てが講じられているが、それらが確かに教育上の効果を上げていることを、根拠を挙げて説明することは困難。
- 教育活動を適切に実施するための手立てが講じられているとは言えない。

評価の根拠とした資料名及び資料番号

- \* 教育活動を実施するための手立てが教育上の効果を上げている理由を挙げられる場合は、具体的に記述してください。

③ 授業を含む教育活動全体の検証を定期的かつ適切に行っている。

(振り返りのための着眼点)

- ・ 検証のための体制、方法及び評価の基準を定めている。
- ・ 学生からの評価も含む、多方向的な評価システムが導入されている。
- ・ 「～を実施している」ことの確認だけでなく、「それが実際に効果を上げているか」を、根拠に基づき確認できるような評価システムとなっている。
- ・ 評価結果が教育内容や方法等のプログラム改善、教員の教育能力向上等の取組に反映されている。
- ・ 評価システムを改善していくための検討が常に行われ、実際に改善が行われている。

(自己評価)

- 教育活動の評価を実施しているだけでなく、評価の妥当性の検証、評価結果の教育活動への活用などが十分に行われていることを、具体的に説明できる。
- 教育活動の評価を実施しているが、評価の妥当性の検証、評価結果の教育活動への活用などが十分に行われていることを具体的に説明することは困難。
- 教育活動の評価を適切に実施しているとは言えない。

評価の根拠とした資料名及び資料番号

- \* 評価の妥当性の検証、評価結果の教育活動への活用などが行われている場合は、具体的に

記述してください。

**【「教育活動」についての総合評価】**

- 教育活動の計画・実施・評価が統一的な方針のもとに行われ、不断の改善が実際に行われている
- 教育活動の計画・実施・評価・改善は目指されているが、十分に機能しているとは言えない
- 教育活動を評価し改善するシステムが存在しないか、ほとんど機能していない

\* 特筆すべき取組み、独自の取組みがあれば簡潔に記述。

**【改善のための方策】**

**評価項目 6 教職員育成**

- ① 教育力及び支援力強化のための取組を適切に行っている。  
(振り返りのための着眼点)
  - ・ 教育目標達成に必要な教職員の能力及び資質を明示している。
  - ・ 新任教員、初任教員を対象とし、明示された「必要な能力・資質」を向上させることを目的とした研修を実施している。
  - ・ 経験を問わず、所属する教職員を対象に、振り返りの機会を設け、情報の共有や成果の確認を行っている。
  - ・ 他機関の実施する研修会等への参加を促している。

(自己評価)

- 上記着眼点で示された多様な試みを実施し、十分な効果を上げていることを具体的に説明できる。
- 上記着眼点で示された試みの多くを実施しているが、それらが十分な効果を上げていることを根拠を挙げて説明することはできない
- 上記着眼点で示されたような試みの中には実施されていないものが多い

評価の根拠とした資料名及び資料番号

\* 教職員育成の試みが十分な効果を上げている根拠を示せる場合は、具体的に記述してください。

② 教職員の自己評価等を含む多方向的な教職員評価を行っている。

(振り返りのための着眼点)

- ・ 教職員評価のための体制、方法及び評価の基準を定めて、開示している。
- ・ 上位者からの評価だけでなく、自己評価、相互評価、学生からの評価も含む、多方向的な評価システムが導入されている。
- ・ 評価結果を的確に教員に伝え、それが教員の能力・資質の向上に結び付いている。
- ・ 評価システムを改善していくための検討が常に行われ、実際に改善が行われている。

(自己評価)

- 教職員の評価を実施しているだけでなく、それが教員の能力・資質の向上に結びついていることを具体的に説明できる
- 教職員の評価を実施しているが、それが教員の能力・資質の向上に結びついていることを具体的に説明することは困難
- 教職員の評価を適切に実施しているとは言えない

評価の根拠とした資料名及び資料番号

- \* 教職員評価が教員の能力・資質の向上に結びついている根拠を示せる場合は、具体的に記述してください。

【「教職員育成」についての総合評価】

- 教職員育成・評価が統一的な方針のもとに行われ、実際に効果を上げている
- 教職員育成・評価は実施されているが、十分に機能しているとは言えない
- 教職員育成・評価のシステムが存在しないか、ほとんど機能していない

- \* 特筆すべき取組み，独自の取組みがあれば簡潔に記述。

【改善のための方策】

評価項目 7 学生支援

- ① 日本社会を理解し、一構成員として活動するための取組を適切に行っている。

(振り返りのための着眼点)

- ・ 留学生活に関するガイダンスを定期的実施し、その効果を確認している。
- ・ 留学生活に関する生活指導担当者が特定され、周知されている。
- ・ 日本社会、日本文化を理解するための活動を行っている。

(自己評価)

- 着眼点の取組みが十分に行われ、これ以上は当分の間改善の必要はない。
- 着眼点の取組みが行われ、成果が上がっているが、さらに改善の余地がある。
- 着眼点の取組を行っているが、十分な成果を上げておらず改善の余地がかなりある。

- 着眼点の取組が十分に実施できていない。改善すべき課題が多い。

評価の根拠とした資料名及び資料番号

--

② 進路指導を適切に行っている。

(振り返りのための着眼点)

- ・ 進路指導担当者が特定されている。
- ・ 学生の希望する進路を随時把握し、入学時から一貫した指導をしている。
- ・ 進学及び就職に関する資料や情報を収集し、学生に提供している。
- ・ 卒業後の進路を把握している。

(自己評価)

- 着眼点の取り組みが十分に行われ、これ以上は当分の間改善の必要はない。
- 着眼点の取り組みが行われ、効果が上がっているが、さらに改善の余地がある。
- 着眼点の取組を行っているが、十分な成果を上げておらず改善の余地がかなりある。
- 着眼点の取組が十分に実施できていない。改善すべき課題が多い。

評価の根拠とした資料名及び資料番号

--

③ 安全な留学生活を送るための適切な取組をしている。

(振り返りのための着眼点)

- ・ 健康、衛生面について指導する体制を整えている。
- ・ 重篤な疾病や障害、交通事故に遭った場合の対応、及び感染症発生時の措置を定めている。
- ・ 火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法等を定め、避難訓練を定期的実施している。
- ・ 必要な場合は母語等による支援体制を整えることができている。

(自己評価)

- 着眼点の取り組みが十分に行われ、これ以上は当分の間改善の必要はない。
- 着眼点の取り組みが行われ、効果が上がっているが、さらに改善の余地がある。
- 着眼点の取組を行っているが、十分な成果を上げておらず改善の余地がかなりある。

- 着眼点の取組が十分に実施できていない。改善すべき課題が多い。

評価の根拠とした資料名及び資料番号

④ 入国・在留に関する指導及び支援を適切に行っている。

(振り返りのための着眼点)

- ・ 入管法上の留意点について学生への伝達、指導を定期的に行っている。
- ・ 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者を発生させないための取組を継続的に行い、発生を防いでいる。

(自己評価)

- 上記着眼点の取り組みが十分に行われ、これ以上は当分の間改善の必要はない。
- 上記着眼点の取り組みが行われ、成果が上がっているが、さらに改善の余地がある。
- 上記着眼点の取組を行っているが、十分な成果を上げておらず改善の余地がかなりある。
- 上記着眼点の取組が十分に実施できていない。改善すべき課題が多い。

評価の根拠とした資料名及び資料番号

**【学生支援についての総合評価】**

- 生活、進路、在留等すべてにわたり適切に行い、効果が出ている。これ以上は当分の間改善の必要がない。
- 生活、進路、在留等すべてにわたり適切に行い、一定の効果が出ているが、まだ改善の余地がある。
- 一部不十分な点があり、改善の余地がかなりある。
- 改善すべき点が多く、学生支援について根本から考える必要がある。

\*特筆すべき取組み、独自の取組みがあれば簡潔に記述。

【改善のための方策】

評価項目 8 施設・設備

① 語学学習に適した施設・設備である。

(振り返りのための着眼点)

- ・ 教室には十分な照度があり換気がなされているとともに、必要な遮音性が保たれている。
- ・ 視聴覚教材や ICT を活用した授業が可能な教育用機器及び設備が備わっている。
- ・ 授業時間外に自習できるスペースおよびリソースを提供している。

(自己評価)

- 着眼点すべてに該当し、語学学習に適した設備であり、これ以上は当分の間改善の必要はない。
- 着眼点すべてに該当しているが、まだ改善の余地がある。
- 一部該当しない部分があり、改善の余地がかなりある。
- 該当しない部分が多く、改めて施設・設備について考える必要がある。

評価の根拠とした資料名及び資料番号

② 学生及び教職員の安全を考慮し、適切な対処を行っている。

(振り返りのための着眼点)

- ・ 法令上必要な設備等を備えている。
- ・ 廊下、階段等は緊急時に危険のない形状である。
- ・ バリアフリー対策を施している。

(自己評価)

- 着眼点すべてに該当しており、これ以上は当分の間改善の必要はない。
- 着眼点には該当しているが、まだ改善の余地がある。

- 一部該当しない部分があり、改善に向けた努力が必要である。
- 該当しない部分が多く、安全面に考慮した施設・設備について考える必要がある。

評価の根拠とした資料名及び資料番号

**【施設・設備についての総合評価】**

- 日本語教育機関として十分な施設、設備を備えており、これ以上は当分の間改善の必要がない。
- 日本語教育機関として十分な施設、設備を備えているが、まだ改善の余地がある。
- 認定日本語教育機関認定基準（告示機関の場合は日本語教育機関の告示基準）には適合しているが、充実した日本語教育を行うためには課題がある。
- 認定日本語教育機関認定基準（告示機関の場合は日本語教育機関の告示基準）には適合しているが、充実した日本語教育を行うための課題が多い。

\*特筆すべき取組み、独自の取組みがあれば簡潔に記述。

**【改善のための方策】**

評価項目9 地域貢献・社会貢献

- ① 地域貢献、社会貢献となる活動を行っている。  
(振り返りのための着眼点)
  - ・ 小中学校の国際理解教育、ボランティア通訳等の地域活動への参加、地域の人々との交流活動を行っている。
  - ・ 地域における日本語教育等を積極的に行っている。

**【地域貢献・社会貢献についての自己評価】**

- 積極的に地域貢献・社会貢献に取り組み、外部からの評価を受けている。これ以上の活動は当分の間考えられない。
- 地域貢献・社会貢献に取り組み、地域・社会からの評価を受けているが、まだ活動を充実させる余地がある。
- 限られた範囲で地域貢献・社会貢献に取り組んでいる。活動を充実させるための課題がある。
- 地域貢献・社会貢献の活動はほとんど行っていない。

評価の根拠とした資料名及び資料番号

\*特筆すべき取組み，独自の取組みがあれば簡潔に記述。

**【改善のための方策】**

**評価項目 10 財務**

① 日本語教育を継続的に行うために適切な財務状況である。

(振り返りのための着眼点)

- ・ 財務状況は、中長期的に安定している。
- ・ 予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。
- ・ 適正な会計監査が実施されている。

**【財務状況についての自己評価】**

- 安定した財務状況であり、会計監査で確認されている
- 財務状況が一部安定していないことが、会計監査で指摘されている

財務状況が安定していないことが、会計監査で指摘されている

評価の根拠とした資料名及び資料番号

--

**【改善のための方策】**

(何を、いつまでに、どのように改善する予定かを、箇条書きで簡潔に記述)

--

自己点検・評価報告書  
(日振協第三者評価用)

日本語教育機関名： \_\_\_\_\_

設置代表者名： \_\_\_\_\_

内部評価委員（氏名・部署・役職）： \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

作成年月日

運営状況及び教育目標の達成状況

独自の取組み，特筆すべき点

記述は任意。

## 改善のための課題

\* 課題ごとに、  
いつまでに、どのように改善する予定かを箇条書きで簡潔に記述。